

東日本大震災と 泌尿器科クリニックの経営

医療法人社団 クリニック斎藤泌尿器科
斎藤敏典

コンテンツ

1. 東日本大震災と医療機関への影響
2. 大震災によるクリニック2回移転の経験
3. 被災者が提案するBCP(事業継続計画)のポイント

2つの大震災 (内閣府防災情報のページから)

1995年1月17日 阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)

死者6,434名 マグニチュード7.3 活断層型

2011年3月11日 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)

死者1万5,859人 マグニチュード9 プレート境界型

東日本大震災の特徴

2011年3月11日午後2時46分 M9 ライフライン被災

最大震度7(宮城県栗原市) 3分以上継続

1. 地震、
2. 津波、そして
3. 原発事故

災害拠点病院の被害状況

岩手県被害なし0/11

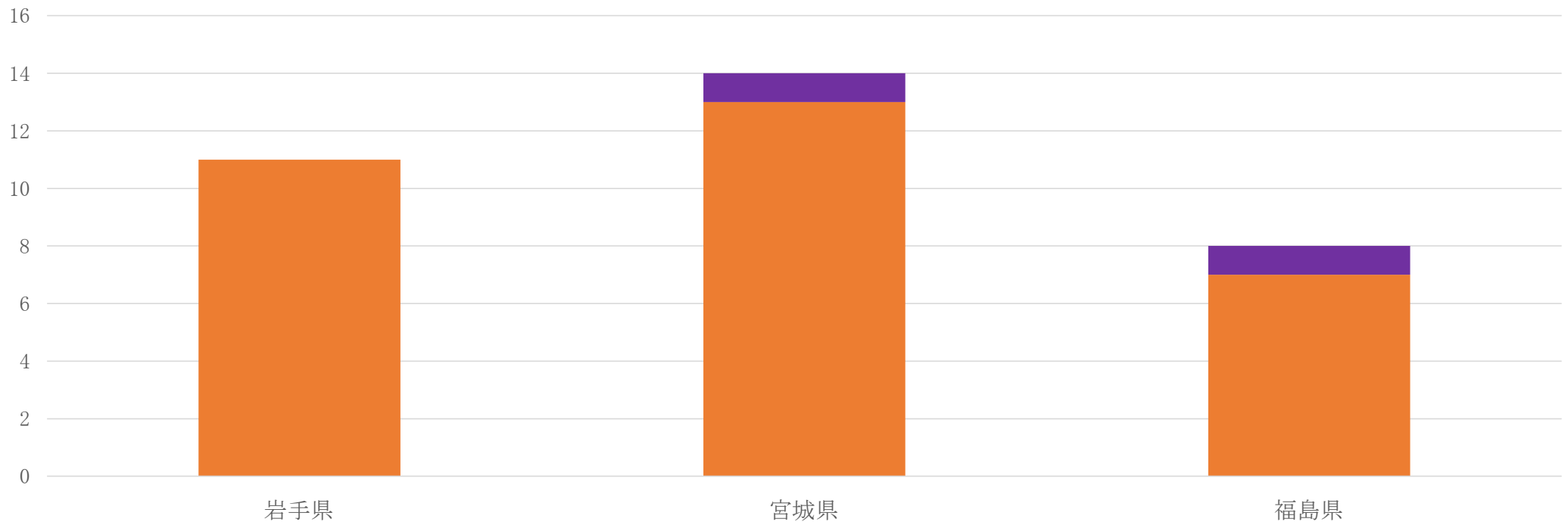
一部損壊 11/11

宮城県被害なし1/14

一部損壊 13/14

福島県被害なし1/8

一部損壊 7/8



厚生労働省医政局平成23年7月11日

病院の被害状況

岩手県被害なし32/94

一部損壊 59/94

全壊3/94

宮城県被害なし19/147

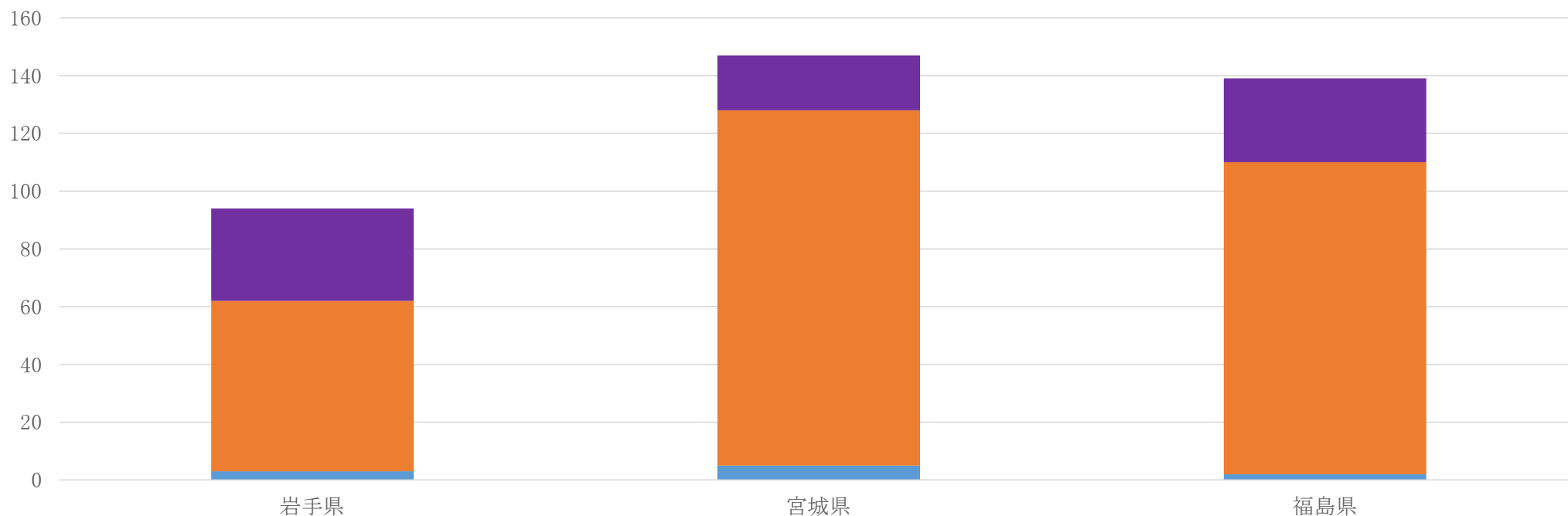
一部損壊 123/147

全壊5/147

福島県被害なし29/139

一部損壊 108/139

全壊2/139



厚生労働省医政局平成23年7月11日

医科診療所の被害状況

岩手県被害なし813/927

宮城県被害なし1002/1626

福島県被害なし401/919

一部損壊 76/927

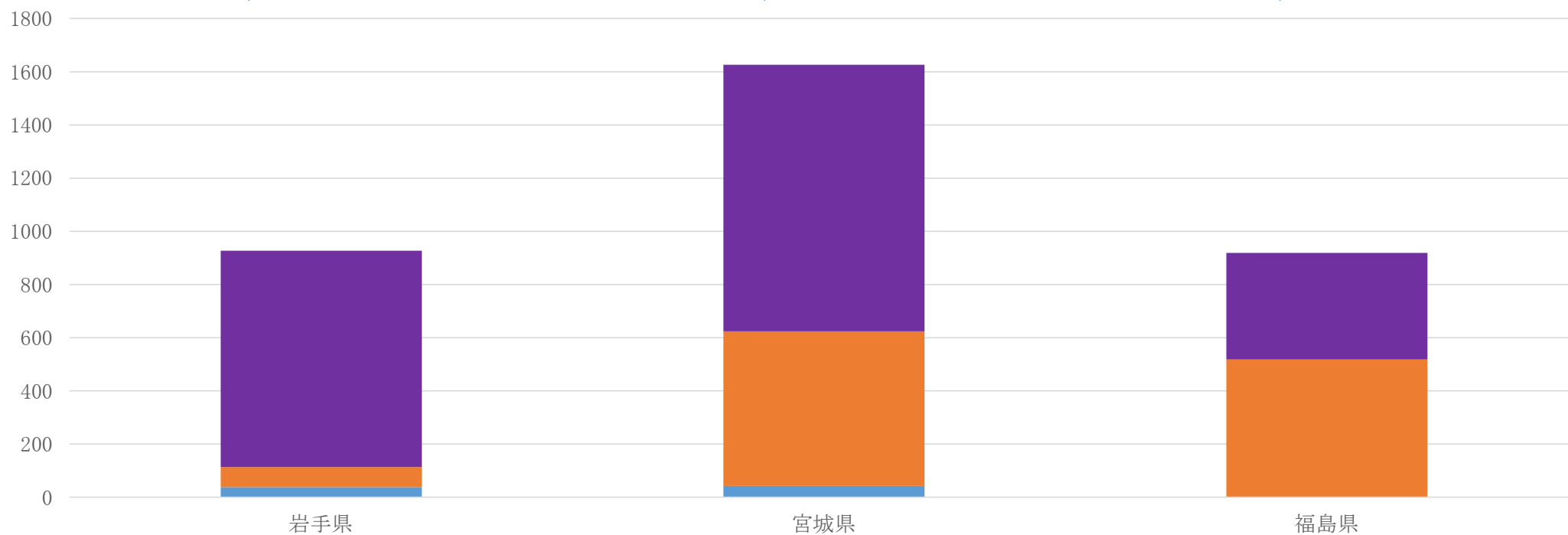
一部損壊581/1626

一部損壊 516/919

全壊38/927

全壊43/1626

全壊2/919



厚生労働省医政局平成23年7月11日

コンテンツ

1. 東日本大震災と医療機関への影響
2. 大震災によるクリニック2回移転(廃止・開設)の経験
 1. 2011年5月開設
 2. 2022年2月開設
3. 被災者が提案するBCPのポイント



当クリニック概略

(開業前:東北大学が開発したESWLによる細胞障害を透過型電子顕微鏡で観察)

1994年 一人医師無床診療所を開業

仙台市内の造成地(1960年頃開発)に建ったビルのテナント開業

2004年 一人医師医療法人に改組

クリニック所在地 赤矢印



1. 本震 2011年3月11日 午後2時46分 M9
発災当日のM5以上の余震 180回

2. 津波 遡上高(陸地を駆け上がった津波の高さ)
40.5m 岩手県宮古市
3.8m 宮城県松島町

3. 原発事故 3月12日午後3時36分
福島第一原子力発電所 1号機水素爆発

発災4日め



全てのアンカー抜ける
固定しても過信しない

発災後のクリニックと隣接ビル



隣接老朽ビル (アスベスト含)

「危険」



近隣ビル階段棟倒壊の恐れ

駐車場の進入道路も閉鎖！

どうする？





2回移転(3つの診療所)

2011年3月11日発災 ライフライン停止、ビル閉鎖、診療終了
仙台市宮城野区鶴ヶ谷2丁目



同年5月2日 移転先ビルで診療開始
仙台市青葉区支倉町(東北大学病院前)



2012年2月1日 戸建て診療所で診療開始
仙台市宮城野区鶴ヶ谷5丁目

発災時クリニック(赤矢印)から
移転先ビルのクリニック(緑矢印)へ



移転と原発事故



2011年3月11日

発災直後、オーナーがビル閉鎖、診療停止

同年3月12日

福島第一原発1号機水素爆発

同年3月15日

電子カルテの動作確認

同年3月17日

外国人がチャーター機で国外へ退避

同年3月22日

電子カルテ修復完了、血圧測定や処方箋の発行

同年3月29日

移転先ビルとテナント契約



同年5月2日

移転先ビルで診療開始、移転距離に問題

同年9月29日

戸建てクリニック建築用地契約

同年10月19日

戸建てクリニック建築工事契約

同年12月16日

野田佳彦首相「原発事故収束」を宣言



2012年2月1日

戸建てクリニック(被災ビル近く)で診療開始

被災ビルからの退去費用¥2,901,110



鉄骨造

職員

9名

床面積

99平米

現状回復

¥1.470.000_

違約金

¥1.289.610_

看板撤去費

¥104.750_

レントゲン装置廃棄費用

¥36.750_

移転先ビルでの開設費用 ¥6,348,889



鉄骨鉄筋コンクリート

職員7名

床面積61.05平米

内装工事費 ¥3.150.000_

宣伝広告費 ¥1.295189_

エアコン設置費 ¥997.500_

保証金 ¥740.000_

待合室備品 ¥166.200_

移転先クリニック



炉心溶融の福島原発

西日本の先輩から避難の誘い

移転と原発事故



2011年3月11日

発災直後、オーナーがビル閉鎖、診療停止

同年3月12日

福島第一原発1号機水素爆発

同年3月15日

電子カルテの動作確認

同年3月17日

外国人がチャーター機で国外へ退避

同年3月22日

電子カルテ修復完了、血圧測定や処方箋の発行

同年3月29日

移転先ビルとテナント契約



同年5月2日

移転先ビルで診療開始、移転距離に問題

同年9月29日

戸建てクリニック建築用地契約

同年10月19日

戸建てクリニック建築工事契約

同年12月16日

野田佳彦首相「原発事故収束」を宣言



2012年2月1日

戸建てクリニック(被災ビル近く)で診療開始

移転先ビル診療所(緑矢印)から
戸建て診療所(赤矢印)へ



戸建て開設費用 ¥21,112,549

前ビルの原状回復費は保証金で充当



木造

職員9名

床面積94.7平米(スタッフルーム除く)

古家解体及び建築費用	¥20.545.540_
------------	--------------

看板費用	¥453.609_
------	-----------

電気容量変更工事費用	¥113.400_
------------	-----------

(地代含まず)

戸建て開設までの費用 ¥30,362,548

地代と転居費用と運転資金等は含まず

旧ビルの退去費用	¥2,901,110_
新ビルの開設費用	¥6,348,889_
戸建て開設費用	¥21,112,549_

顧問契約事務所の迅速な対応

1. 電子カルテサポート会社
 1. 電子カルテの可搬優位性

2. 顧問税理士・行政書士事務所
 1. 役員報酬を削減して赤字軽減
 2. 行政機関への書類作成
 3. 税務調査(後日)

3. 顧問弁護士事務所
 1. テナント解約時の法務問題

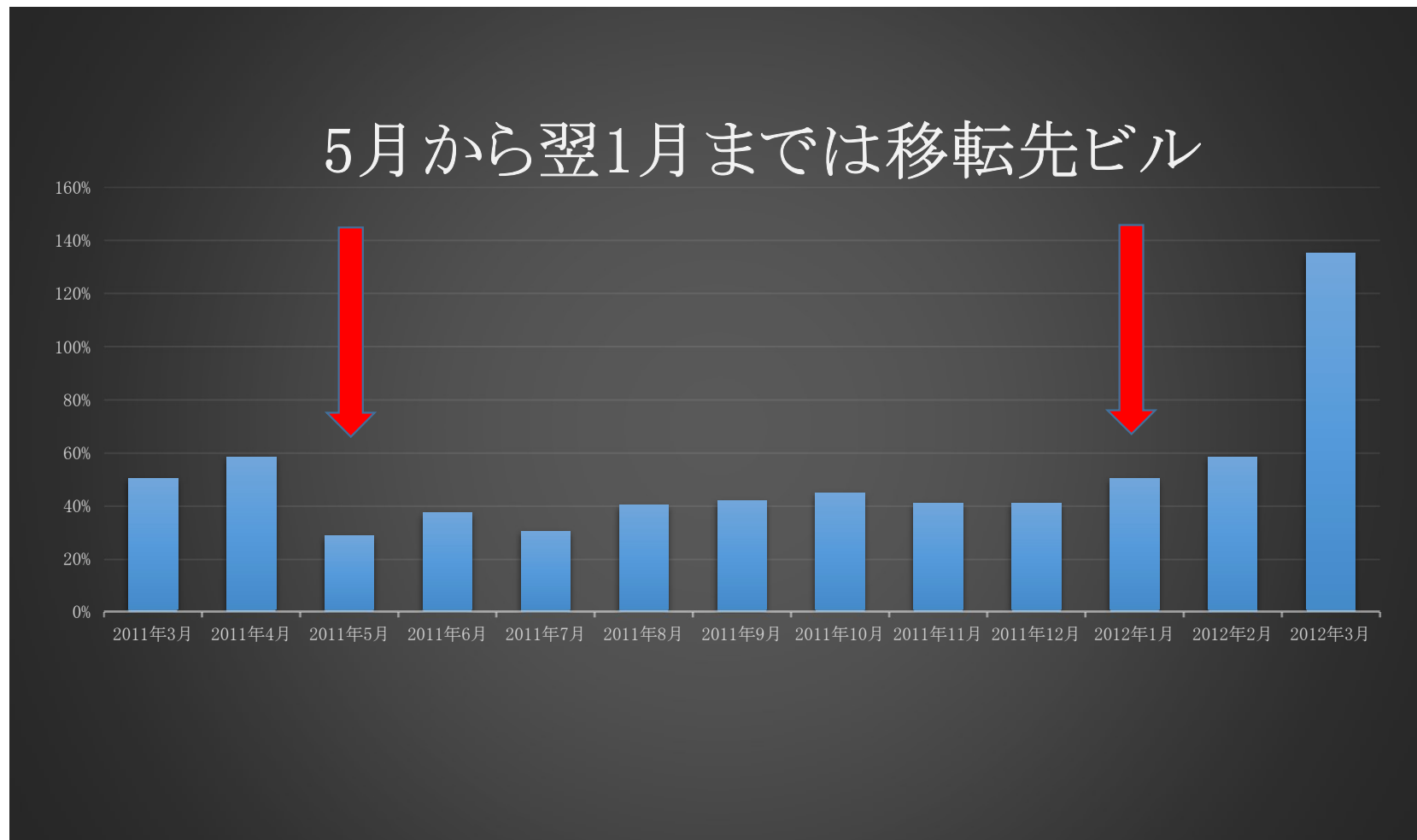
随時依頼の事務所

1. 社会保険労務士事務所

1. 東北地方太平洋沖地震等の発生に伴う雇用調整助成金の特例について(職発0317第2号)

月別患者 対前年比

(赤矢印は5月と翌1月)



コンテンツ

1. 東日本大震災と医療機関への影響
2. 大震災によるクリニック2回移転の経験
3. 被災者が提案するBCPのポイント

BCP: Business Continuity Plan

平成29年度災害拠点病院で義務化

1. 地方自治体等ホームページでハザードマップの確認
2. インソーシングの場合
 1. 厚生労働省や中小企業庁のホームページを参考
 2. AIを活用
3. アウトソーシングの場合
 1. コンサルティングファームを活用

AIによる被災クリニックの再開手順

1. 建物の安全を確認
2. 必要な許可証の取得
3. 計画立案
4. 医療機器テストと備品の設置
5. スタッフのトレーニング



Welcome to ChatGPT

Log in with your OpenAI account to continue

Log in

Sign up

医療施設の災害対応のための事業継続計画（BCP）

災害拠点病院用のBCP策定について

- ▶  [病院BCPを策定するための手引き\[PDF形式：882KB\]](#) 
- ▶  [病院BCP：（災害拠点病院用）改訂第2版 \[PDF形式：7.0MB\]](#) 

平成28年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「地震、津波、洪水、土砂災害、噴火災害等の各災害に対応したBCPおよび病院避難計画策定に関する研究」

代表研究者 本間 正人

災害拠点病院以外の医療機関のBCP策定について

- ▶  [医療機関（災害拠点病院以外）における災害対応のためのBCP作成の手引き \[PDF形式：197KB\]](#) 
- ▶  [医療機関（災害拠点病院以外）における災害対応のためのBCP作成指針 \[PDF形式：258KB\]](#) 
- ▶  [災害拠点病院以外の医療機関におけるBCPチェックリスト \[PDF形式：147KB\]](#) 

▶ 政策について

▼ 分野別の政策一覧

▼ 健康・医療

▶ 健康

▶ 食品

▶ **医療**

▶ 医療保険

▶ 医薬品・医療機器

▶ 生活衛生

▶ 水道

被災者が提案するBCPのポイント

4つの経営資源

1. ヒト
2. カネ
3. モノ
4. ジカン

ヒト

1. 解雇しない

家族や住居を失った被災者を無職にしない

2. 本人や家族の安否確認

1. 「津波てんでんこ」

3. 自宅や避難所における発災後の治安を確認

4. 医師会等関係諸団体や行政機関との連携強化

カネ

1. 資産(純資産＋負債)を確認
2. 固定費や損益分岐点を確認
3. 減収時の役員報酬減額を試算(予定納税額や住民税額の確認)
4. 解約違約金を含めた契約内容を確認
5. 融資条件を確認:赤字法人や高齢者(個人や一部法人)への融資は厳しい
 1. 独立行政法人福祉医療機構WAM
 2. 民間金融機関
6. 税務調査への備え

モノ

1. 医療用品
 1. 薬品、医療材料、医療機器(小型化)、通信機器(ネット:スターリンク®)
2. 生活用品(職員分も含む):キャンプ用具一式、靴(足元に)
 1. 現金、水、食料、充電器、暖房・調理器具、発電機(自動車も含む)
 2. サランラップ、ブルーシート、ロープ、トイレ、スコップ
3. 病院:燃料、地下貯水槽あるいは井戸
3. 水害ハザードマップ被害想定地域:水辺でのキャンプ用具一式、ハシゴ
 1. 高台の自宅や避難所、長靴、(ゴムボートは安全を確認して使用)
 2. 自動車避難は危険(渋滞や車外への脱出不能に注意)

ジカン

1. 正確な最新の情報

1. 政府の治安維持目的の情報は外国報道機関等の情報で検証
2. 詐欺やデマに注意

2. 災害の変化や長期化に対応

1. 復旧までの期間(自験例):電気2日、水道8日、都市ガス25日
2. 二番底、三番底に備え臨機応変に
3. 健康に留意し休息を(可能なら被災地から一時離脱)

災害は千差万別

すべての幸せな家庭は似ている。

不幸な家庭は、それぞれ異なる理由で不幸である。

トルストイ著「アンナ・カレーニナ」

災害から命を守る

被災地以外の医師もご遺体の検案に御協力を

テイクホーム・メッセージ 「ピンチはチャンス」にしよう

- 発災前:BCPの作成
 - 財務諸表の確認や**諸契約**の確認と見直し
 - 減収を想定して**損益計算を試算**(赤字法人や高齢の個人開設者への融資は厳しい)
 - 委託先および医師会等関係諸団体や行政機関との**連携**強化
 - BCP作成と**持続的見直し**
- 発災後:BCPの実行
 - 院内Ptと職員の安全を確保し、職員**解雇の回避**
 - 積極的**改革**で被災時の減収を改善
 - 設備投資を抑え収入を増やす(オンライン診療や安価なポケットU/S等)
 - BCPは臨機応変に実行し、**健康**に留意
 - 後日の**税務調査**に備える